

R5 地域こん談会まとめ

	自治体会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	亀岡地区 東部自治会	<p>国道9号古世口交差点は、通勤・通学及び日常生活に欠かせない買い物客で非常に危険な交差点である。平日の朝と夕方、休日及びサッカー観戦に来られる時等、極めて交通量も多い。</p> <p>○春日坂から南に向かって古世口交差点を直進及びつつじヶ丘方面に向かう車がスムーズに通行できない。</p> <p>○国道に入る府道の交差点改良をして、渋滞の緩和安全な通行ができる改良をしてほしい。</p>	<p>国道9号古世口交差点は、国道に市道2路線、府道1路線が接続する変則的な形状をした交差点となっており、春日坂方面から古世口交差点を直進及びつつじヶ丘方面に向かう車がスムーズに通行できない状況にあることは認識しております。</p> <p>国道9号に接続する府道亀岡園部線につきまして、「亀岡園部線整備促進協議会」からも早期の道路整備要望があるところであり、本市におきまして令和3年度から3箇年計画で、府道亀岡園部線の整備手法の検討業務である、まちづくり基本調査を実施しており、今年度が調査最終年となっております。</p> <p>この調査内容との整合を図りながら、渋滞を緩和し安全な通行ができるよう、京都府及び国道9号を管理します国土交通省と協議・調整を図ってまいりたいと考えます。</p> <p>また、すぐに抜本的な対策ができないのであれば、警察のインフラ整備事業で矢印信号を設置する要望を地元から出していただくなどの方法も可能性としてはあるかと思えます。</p> <p>抜本的な古世口交差点の改良をしっかりとと思うと、今整備している計画がしっかりとできないと実施できないと思えます。亀岡園部線から国道9号線に出ようとする、もう1レーンは最低必要になるのではないかと考えております。ちょうど今ワールドさんが閉めているタイミングでありますので、1レーンだけでも拡幅をして欲しいという話を進めていくことで、まずは用地を確保しておくことも必要になってくるのではないかと思います。</p> <p>また、反対側の市道をどうするかという話は、事業者が決まってからでない一度にはできないと思えます。まずできるところは今可能性がある部分でいうとワールドさんのところをもう1レーン分拡幅することによって、少しでも左折及び右折がしやすくなるのではないかと、もし広げられれば、今の矢印信号という方法も有効になってくるのではないかと、まずできるところから少しずつ、別に要望していく方法もあるのではないかと、それらの要望をもとに我々も国や府に対して、この亀岡線促進協とは別に、交通渋滞解消のための取り組みをできるだけやって欲しいという要望をしてもいいのではと思えます。それならば15年先ということではなく、早ければ2、3年の間に実行できる可能性があると考えます。</p> <p>以前に頼政塚交差点に1本左折の車線を作らせてもらいました。あれは、大阪ガスの敷地を市が購入させていただき、市道であったため、市で予算化をして、事業者をお願いして、スタジアムがオープンして、アウェイやホームゲームでの渋滞緩和を目的に実施しましたが、実質3年かかりました。そういう例もありますので、国や府と協議をしながら、一度にはできなくてもまずはできるところから取り組んでいくことが地元にとっても良いことですので、自治会からも要望をあげていただきたいと思います。市としても引き続きしっかりと取り組んでいきたいと考えております。</p>	まちづくり 推進部長 市長	④要望	こん談会時の回答のとおりです。

R5 地域こん談会まとめ

2	<p>亀岡地区 東部自治 会</p>	<p>○祭りや地蔵盆などの宗教行事を無形文化財として後世に残していくべきと思うかどう考えているか。 ○文化の継承について何か対策は考えているか。 ○祭りや地蔵盆などの行事を子供の教育として教育機関に認識してほしい</p>	<p>亀岡祭は文化を継承するための文化行事であり、亀岡市も協力していきたいと思っております。山鉾連合会に補助金を出しておりますが、文化財への寄附としてふるさと納税制度も活用し取り組みたいと考えております。企業から各山鉾への寄付や地蔵堂等への寄付も可能です。教育的な体験学習の場という位置付けで、今後取り組んでいく必要があると考えています。学校に対しても、ふるさと学習ということを含めて、もっと力を入れていくべきであると伝えており、今回、少し参加者を確保できたということはよかったと思っております。できればもっと幅広く、他の小学校から募り、当日は公欠やふるさと体験学習休暇のような制度を作っても、参加したい子どもにも参加させる仕組みができればと考えているところです。</p> <p>○祭りや地蔵盆等については、行政として政教分離の原則を踏まえつつ、祭りや地蔵盆などの地域行事についても重要な無形民俗文化財として認識しています。例えば亀岡祭における山鉾行事やお囃子といった部分など後世に残していくべき文化財については保存・活用を図っていく必要があると考えております。</p> <p>○祭の担い手不足により、文化の継承が困難になってきている事象があることは認識しています。亀岡市では、亀岡祭を、「亀岡祭山鉾行事」として市指定の無形民俗文化財として指定し、補助金を指定するなどしており、今後も地元と協働して保存継承を図っていきたいと考えています。また、令和4年12月に文化庁から認定を受けた「亀岡市文化財保存活用地域計画」においても、今後取り組んでいく措置の一つとして、後継者育成を目指した市内各団体の連携会議の実施や担い手育成プロジェクトの実施を掲げており、今後も地域住民、関係団体等と連携しながら、保存継承に係る取り組みを進めていきたいと考えています。</p> <p>○祭りや地蔵盆等の地域行事において、子どもたちが多世代の人々と触れ合うことは子ども達の教育上重要であり、学校では学べない貴重な体験ができる機会であると地元小学校や中学校といった教育機関も十分認識しております。</p> <p>令和4年度から始まっている第2次亀岡市教育振興基本計画にも、その基本理念に「ふるさとを愛し 心豊かに 未来を共にきりひらく」を目指す人間像と掲げており、今後もその実現に向け、地域と学校が連携のもと子どもたちを育てていきたいと考えていますので、子どもたちが祭をはじめとする地域行事への参加できるように学校へも協力を求めていきます。</p>	<p>市長 教育部長</p>	<p>①実施</p>	<p>亀岡小学校に対して羽衣山の囃子の募集を行いました。 10名以上の募集があり今年度は4名が囃子方になったと聞いております。</p>
---	----------------------------	--	--	--------------------	------------	---

R5 地域こん談会まとめ

3	亀岡地区 東部自治会	<p>敬老会補助金の増額をお願いしたい 亀岡地区東部自治会では、過去3年間商品券ではなく、1,000円という限られた予算で、対象者の皆様の記憶に残る記念の品をお贈りすべく、記念品の選定に苦慮している。敬老会補助金の増額をお願いしたい。</p>	<p>敬老事業につきましては、地域の高齢者の皆様への敬老のお祝いのための事業として、自治会の皆様の多大なる御協力により実施していただいていることに厚くお礼申し上げます。 また、限られた予算の中、物価高騰もある中で、皆様に喜んでいただけるよう記念品選定に苦慮されておられますことにつきましては十分に理解をしているところです。 本市におきましても高齢化により、敬老事業における補助金が年々増加する中で、将来にわたり安定した支援ができるよう努めているところであり、今年度予算につきましては、既に決まっていることから、御理解をいただきますようお願いいたします。 また、来年度以降に関しましては、物価高騰等の社会情勢も見据えながら、検討させていただきたいと考えております。</p>	健康福祉 部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
4	亀岡地区 東部自治会	<p>敬老会対象者資料は6月中旬までに提出をお願いしたい 2023年度は対象者が1,200人程度と予想している。この数の記念品を揃えるためには遅くとも6月中旬までに資料の提出をお願いしたい。</p>	<p>亀岡地区東部自治会においては、対象者が多く、記念品の確保等、早くから準備をいただく必要があることと理解しています。 対象者名簿の作成にあたっては、住民基本台帳から町ごとのデータ抽出を行い、そこから施設入所者を除き、また東部自治会におきましては、次のこん談事項にあります自治会ごとに振り分ける作業を行い、名簿をお渡ししているところです。 今年度につきましては、御要望もいただいていたことから、例年6月1日現在でデータ抽出をしていましたが、5月1日現在に早め、6月下旬に名簿をお渡ししたところです。 記念品の数の確保という点においては、対象者人数だけでも6月中旬にお伝えすることは可能であるため、対応させていただきたいと思っております。また名簿につきましても、訂正がないようしっかり確認した上で、できるだけ早く対応していきたいと考えています。</p>	健康福祉 部長	②実施予定	こん談会時の回答のとおりです。 (令和6年6月中旬実施予定)
5	亀岡地区 東部自治会	<p>敬老会対象者資料の訂正箇所翌年度資料への反映の徹底 敬老会対象者資料の訂正が翌年度の資料に反映されていないケースが未だある。更なる徹底をお願いしたい。</p>	<p>敬老会の対象者名簿につきましては、対象者の住所データを各自治会別に振り分けて作成しておりますが、昨年度御指摘のありました訂正箇所について、内部での確認が上手くできておらず、大変な御迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。 今後は作成した対象者資料につきまして、複数の職員による確認を徹底し、訂正箇所が確実に反映されるようにまいります。</p>	健康福祉 部長	②実施予定	こん談会時の回答のとおりです。 (令和6年実施予定)
6	亀岡地区 東部自治会	<p>自転車用ヘルメット補助金について a 着用の更なる推進にむけて、行政が取り組まれるのかお聞きしたい。 b 着用の推進に当たり、ヘルメット購入時の補助金を考えられるのかお聞きしたい。</p>	<p>a 今年度は、5月13日に、アル・プラザ亀岡駐車場にて、また、6月9日と6月23日には、JR亀岡駅にて亀岡警察署と共催でヘルメットの展示を行い、ヘルメット着用促進の啓発を行いました。今後も、引き続き亀岡警察署と連携を図りながら亀岡市交通安全協会、亀岡地域交通安全活動推進委員協議会などの関係機関の協力を得て、自転車の安全利用啓発に加え、ヘルメット着用による安全性の向上を普及啓発していきたいと考えております。 b 令和5年4月1日から自転車ヘルメットの着用が努力義務化されたことにより、5月1日から6月30日まで、京都府交通安全協会がヘルメット代金の購入補助を行っており、市ホームページで告知を行ってまいりました。 今後、京都府交通安全協会の応募状況や着用率の状況等を踏まえながら補助金の必要性について検討したいと考えております。</p>	総務部長	①実施	1月4日(木)から自転車用ヘルメット購入費補助金制度を開始いたしました。

R5 地域こん談会まとめ

7	亀岡地区 東部自治会	防災士の制度について、どのように考えているか	<p>防災士は、市民の「自助」「共助」「協働」を高め、社会の様々な場で減災と社会の防災力を高めるため、日本防災士機構が創設した民間資格です。</p> <p>亀岡市では、市内各地域の自治会・自主防災会を中心とした市民共助の災害体制づくりに取り組んでおりますが、それぞれの地域において防災・減災に関する知識や技能を持った防災士が指導的な立場で活躍していただけることを念頭に、昨年度から防災士の養成に取り組んでおります。</p>	総務部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。
8	亀岡地区 東部自治会	防災士の養成について	<p>亀岡市における防災士の養成に関しては、亀岡市が研修実施機関としての認証を取得し、自主開催により講座を開講することで、受講者の負担軽減を図るとともに、亀岡の災害の特徴をよく理解した人に講師を依頼するなど、特色ある講座を開催しています。</p> <p>養成する人数は、毎年約50名を計画しており、本市の講座以外で資格を取得される方も合わせて、防災士の増加を図りたいと考えています。</p>	総務部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。
9	亀岡地区 東部自治会	防災士と亀岡市の連携方法について	<p>本市では、市内在住・在勤の防災士が研修や訓練を通じてスキルアップを図るとともに、防災士相互の情報交流の場として活用していただくため「かめおか防災士ネットワーク」を今年4月に設立いたしました。このネットワークの活動を通じて、亀岡市の防災・減災に向けた考え方を防災士の皆さんと共有するとともに、市が実施する防災関連事業や災害ボランティア、地域で実施される取組みへの支援など、様々な取組みにおいて連携を図ってまいりたいと考えています。</p>	総務部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。
10	亀岡地区 東部自治会	亀岡地区東部自治会と防災士の連携に対して要望はあるか	<p>亀岡地区東部自治会においては、自主防災会における防災士の位置づけ、役割や協力・連携等について明確化し、先日開催された防災訓練においても地域に所属される防災士に参加者の指導やサポートを要請されるなど、他に先駆けて防災士と地域との連携を進めていただいております。</p> <p>この取り組みの様子を他の地域にも情報発信し、同様の取組みを多くの地域で広めていきたいと考えますので、今後も引き続き地域における防災士の活躍を御支援いただきたいと思いますと考えております。</p>	総務部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。

R5 地域こん談会まとめ

11	亀岡地区 東部自治会	東南海地震発生時から1月後までの個人と自治会、亀岡市及び防災士の行動や連携について計画等教示いただきたい	亀岡市としては、亀岡市地域防災計画や公的備蓄計画、自治体や民間企業などとの災害協定など、あらゆる防災に関する計画に基づいて全庁体制で対応することとしておりますが、発災直後は、行政や周囲からの支援も十分に整わず、市民生活に大変な混乱が生じることも予想され、発災直後の期間は防災士の方々や自主防災会の方々を中心として、共助の部分の中心的な役割を担っていただくことで、被害の軽減に努めていきたいと考えています。	総務部長	⑤その他	こん談会時の回答のとおりです。
12	亀岡地区 東部自治会	a 現在市民の憩いの場として親しまれているが、もう少し公園として整備されてはどうか。 b 夏場に藻が大量発生するが、付近の住民の方が対応している。藻が発生しない対策はないのか、又亀岡市で管理出来ないか。	a 古世親水公園につきましては、亀山城の歴史的要素を取り入れた雰囲気や、きれいな湧き水を利用し、また階段やスロープを配置し、人と人がふれあうコミュニティ空間という構想に基づき、水と緑と心のふれあう潤いのある公園としての整備を行っていることについてご理解いただけますようお願いいたします。 b 当公園につきましては、日常の維持管理において水路の中の藻についても適宜清掃しておりますが、夏場には、清掃してもすぐに藻が発生する状況となっており、地元の方にもボランティアで清掃して頂いている状況は把握しております。当水路は、公園という性質上、浅い水路構造となっており、水深が余り無いため藻が生えやすいことについてご理解頂きたいとともに、清掃につきましては、指定管理者の緑花協会と連携しながら適切に対応してまいりたいと考えております。	まちづくり 推進部事 業担当部 長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
13	亀岡地区 東部自治会	c この公園の湧水は東南海地震等の大災害時亀岡市の水道が止まった時亀岡地区の貴重な水源となると思うが、災害時利用できる設備を設置してはどうか	c 地下水湧水につきましては、飲料用としては現在のところ想定はしておりません。 当然飲料となれば、飲用可能な水であるかの確認も必要であることから、今後の課題と考えております。まずは生活用水としての活用が可能であれば、公園管理者であるまちづくり推進部と協議をしていきたいと考えております。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです
14	亀岡地区 東部自治会	今後の行政と自治会の在り方について a 自治会役員のなり手がない状況をどのように考えているか。 b 今後の行政と自治会の在り方についてどのように考えているか。 c 亀岡市外で働く現役世代が参加できる自治会実現のためにはどうすれば良いか聞きたい。	a 地域コミュニティへの希薄化や担い手不足の傾向にあり、前任者の方がサポートできるような、仕組みを作ることや、行政と地域の皆さんで、それぞれ議論していく課題であると認識しております。そうしたことから市民の連携役として自治会があるものと考えております。 b 地域の課題を直接行政や府、国に対して要請をしていく組織がなくなってしまえば、地域にとっても不利益を被ることになると考えます。 c 市外で働く現役世代の方々に協力をいただけるような組織のあり方については、地域においても考えていただき、それに対してどのような形で行政として支援ができるか考えていきます。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです